

令和3年度 第1回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨

日 時 令和3年4月12日（月）14：00～16：10
場 所 WEB会議
構 成 員 8名（出席者7名）

（幹事会委員）以下は「幹事会幹事会運営に関する申し合わせ」第2条の号数

1号委員（がんセンター長）	増田 昌人
2号委員（沖縄県立中部病院）	朝倉 義崇
3号委員（那覇市立病院）	友利 寛文
3号委員（沖縄県立八重山病院）	菊池 馨
3号委員（北部地区医師会病院）	柴山 順子
3号委員（沖縄県立宮古病院）	松村 敏信
4号委員（琉球大学上原キャンパス事務部総務課長）	金城 不二子

（欠席者）

4号委員（沖縄県保健医療部）	糸数 公
----------------	------

（陪席者）

沖縄県立中部病院	戸板 孝文、吉田 幸生
沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班	沖山 洋子、新垣 真太郎
琉球大学病院診療情報管理センター	有賀 拓郎
がんセンター	石川 千穂
上原キャンパス事務部総務課総務第二係	平良 英貴

議事要旨・委員一覧

会議に先立ち、新委員となった菊池委員（3号委員）及び席者（沖縄県健康長寿課がん対策班（沖山氏、新垣氏）の紹介があった。また、オブザーバー参加の琉球大学病院診療情報管理センター有賀氏の紹介があった。

1. 令和2年度第4回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨（1月18日開催）について
2. 令和2年度第4回沖縄県がん診療連携協議会幹事要旨（2月5日開催）について
3. 令和2年度第4回沖縄県がん診療連携協議会幹事録（2月5日開催）について

増田議長から資料1から資料3に基づき、令和2年度第4回幹事会議事要旨（令和3年1月18日開催）、令和2年度第4回協議会幹事要旨及び幹事録（令和2年11月13日開催）について報告があった。また、第4回協議会の反省点について確認がなされた。

4. 協議会・幹事会委員一覧について

増田議長から資料4に基づき、協議会・幹事会委員の確認があった。

5. 令和3年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田議長から資料5に基づき、令和3年度の協議会・幹事会の開催の日時について確認があった。令和2年度で示した日程のうち、令和3年1月15日（金）に予定した第3回協議会の日程について、多くの医療関係者が参加する会議と重なることから、令和3年1月19日（金）に変更したとの報告があった。

審議事項

1. 沖縄県におけるがん対策の進捗状況について①

増田議長から資料6（当日資料）に基づき、「相談支援と情報提供」指標の説明があった。続いて、都道府県ごとの指標を確認できる資料を作成中であることの紹介及び作成途中の資料についてどのような資料となっているか等概要についてデモンストレーションが行われた。

（がん相談支援センターの利用状況についての意見交換等）

柴山委員：北部地区医師会病院では、そもそも相談支援の利用が少ないと感じており、そのため指標化が困難になっているように思われる。

友利委員：那覇市立病院では相談支援センターを紹介しているが、全ての患者家族が利用しているようには感じない。また、患者サロンについては、新型コロナウイルスが流行してから開催していない。なお、がん患者に説明する際（主観として半数程度）は専門の看護師が同席し、当該看護師の判断においてがん相談支援センターを紹介する等対応している。

菊池委員：県立八重山病院では、がん患者への説明する際には（主観として8割程度）患者のニーズにあう看護師が同席し、対応している。

松村委員：県立宮古病院では大腸がんに限っていえば、救急外来対応の際は、看護師の同席はできていない。

増田委員：患者会の要望もあり、国の方針も同様であることから、がんの治療方法を選択する前までに相談支援センター利用いただくようシステム作りが求められている。また、がん相談支援センターを原則的に利用いただく先進例はあるが、それらは一部特殊な医療機関であることから方法を単純に参考にすることはできない。各病院の実状に沿った形で、がん相談支援センターの利用率を高める方法を構築していくことが必要となってきている。

2. 沖縄県におけるがん対策の進捗状況について②

増田議長から資料7（当日資料）に基づき、「がん登録」指標と活用方法の案について説明とがあった。

3. 第1回沖縄県がん診療連携協議会議題調整について

※上記1, 2が協議会の議題のベースとなる前提であったことから、割愛された。

報告事項

1. 第3次沖縄県がん対策推進計画(2018~2023)の中間評価について

沖縄県健康長寿課新垣氏（オブザーバー参加）から、第3次沖縄県がん対策推進計画(2018~2023)の中間評価について、令和3年7~8月に会議開催し、評価を行っていく予定であるとの報告があった。

また、増田議長から、中間評価の先進例と秋田大学の紹介があった。

2. 沖縄県における令和3年度のがん対策予算について

沖縄県健康長寿課新垣氏（オブザーバー参加）から資料9に基づき、沖縄県における令和3年度のがん対策予算は約1億6千万円となっており、例年度と比較し、約1千2百万円の減額となっているとの報告があった。また、主な要因として、がん医療連携体制推進事業費、がん検診充実強化促進事業の委託料の実績に基づく減額、がん診療連携拠点病院等の患者に対する歯科保健医療推進事業の終了に伴うものであるとの報告があった。

なお、がん患者等妊よう性温存療法研究促進事業については今年度から開始されるとの説明があった。

3. 患者会よりの報告

増田議長から資料10に基づき、NPO法人パンキャンジャパンからの報告を予定している旨の説明があった。

4. がん教育について

増田議長から資料11に基づき、今年度から保健体育の授業としてがん教育を実施することとなっている旨の状況説明があった。

5. 北部地区医師会病院と琉球大学病院との定期的なカンファレンスについて

増田議長から資料12に基づき、北部地区医師会病院と琉大病院とで定期カンファレンスを実施した旨の報告があった。

6. がんゲノム医療について

増田議長から資料13に基づき、がんゲノム医療について報告があった。また、前立腺がんについてのみは、琉大病院がんセンターではなく、琉大病院の泌尿器科へ直接問い合わせさせていただくよう紹介のルールを変更する旨の報告があった。

7. 沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について

8. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告

9. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

増田議長から、各自確認いただきたい旨、発言があった。

10. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

(1) 第75回がん対策推進協議会議事次第

(2) 第4回がんゲノム医療推進コンソーシアム運営会議

(3) 第4回がん全ゲノム解析等連絡調整会議

(4) 第1回「全ゲノム解析等実行計画」の推進に向けた検討会議

(5) 第2回「全ゲノム解析等実行計画」の推進に向けた検討会議

(6) 第18回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会議

(7) 第32回がん検診のあり方に関する検討会

(8) 第1回小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法に関する検討

(9) 第2回小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法に関する検討

増田議長から資料17に基づき、がん関連審議会及び各種会議について報告があった。

11. その他

増田議長の要望を受け、県立中部病院の戸板氏（オブザーバー参加）から、離島から本島へ放射線治療を受ける際の状況について説明があった。

部会報告事項

1. 医療部会（資料なし）

2. 緩和ケア・在宅医療部会

3. 小児・AYA部会

4. 離島・へき地部会

5. 情報共有・相談支援部会

6. ベンチマーク部会

増田議長から、各自確認いただきたい旨、発言があった。

以上